

〈 改善報告書検討結果（東北工業大学）〉

[1] 概評

2006（平成18）年度の本協会による相互評価に際し、問題点の指摘に関する助言として6項目の改善報告を求めた。今回提出された改善報告書からは、貴大学が、これらの助言を真摯に受け止め、意欲的に改善に取り組んでいることを確認できる。また、多くの項目についてその成果も満足すべきものである。

ただし、次に述べる取り組みの成果が十分に表れていない事項については、引き続き一層の努力が望まれる。

学部の教育内容・方法について、学生による授業評価アンケートは大学で統一した様式を採用し、評価と改善の結果を総括集として定期的に発行するなど、一定の改善が認められる。しかし、統一した項目による授業評価をすべての授業で行っていないこと、アンケート結果を学生に公表することを決定はしたものの、いまだそのあり方などについては検討中であることから、今後一層の努力が望まれる。

[2] 今後の改善経過について再度報告を求める事項

なし

以 上